

プロローグ

あわや火事に、うっかりして煮物を焦がしてしまったお母さん、そんなヒヤリとする出来事も呑気に受け止める家族、この作品は火災に危機意識の薄い家族が、身の回りの火災発生の原因や防火策をナレーターとともに考えて行く構成を取ります。

放火と予防策

人気のない時間帯や死角となる場所で発生する放火は予防できるの？

家族の疑問に、家の周りに燃えやすいものを置かないこと「放火されない・させない」環境作りの予防策を示します。

調理・暖房器具の火災原因と予防策

天ぷらを揚げている途中でコンロを消し忘れてたら・・・

グリルも焼いている魚の油に火が付くと・・・

I Hの調理器具も災が出ないからと言って油断は禁物・・・

予防策は、周りには燃えやすい物を置かない事。

石油や電気ストーブなどの暖房器具の火災の原因も考えてみます。

タバコによる火災の原因と予防

タバコからはどんな火災の原因が考えられるのか？仏壇から起きる火災の原因についても取り上げています。

電気による火災の原因と予防

電源プラグのトラッキング現象はなぜ危険？その原因と予防策を示します。

もし火災が起きたら・・・

消防局予防課の職員が、初期消火と避難行動について解説します。

住宅火災での死因で最も多い「逃げ遅れ」その理由は煙。一酸化炭素中毒で動けなくなり死亡するケースが多いのです。煙の特性を理解し火災時の避難の方法を伝えます。

住宅用火災警報器の点検を忘れずに

逃げ遅れないためには火災警報器の役割りは重要です。

火災警報器は非常時に作動しないと意味がなく、作動点検の必要性を伝えます。

エピローグ

消化器の使い方や煙体験など、万が一火災が発生した時に慌てずに対応できるのです。

家族の火災に対する意識が変わり、消防訓練への参加を決めます。

プロデューサー 篠原 修

監督 佐々木 利男

脚本 吉田 和義

佐々木 利男

撮影 松丸 武彦

製作協力 吉田 映像工房

協力

さいたま市消防局 日本製罐株式会社

監修

東京理科大学総合研究機構

火災科学研究センター長 教授

工学博士 菅原 進一